

官民による若手研究者発掘支援事業
(社会実装目的型の医療機器創出支援プロジェクト)
令和5年度終了課題 事後評価結果

1. 研究開発課題名：ひずみ応答性抵抗膜技術によるデータグローブを活用した発達障害児に対するデジタル治療機器の開発研究
2. 研究開発代表者氏名(所属)：入江 啓輔(京都大学)

【評価(公開)】

発達性協調運動障害の治療を目的としたデータグローブ、脳機能を不活化する治療用アプリケーションを開発し所期の開発成果を得、治療用アプリケーションについて、課題特異的な治療効果を有する可能性を示唆する評価結果を得たことが評価された。

以上